



TAC 地方上級・国家一般職・総合本科生

M.O.さん(21歳)

合格:徳島県警察官 A(男性)

内定:徳島県警察官 A(男性)

【TAC 徳島校の良かったところ】

1. 大学生協の講座や面接対策と比べると、「圧倒的な質の高さと安心感がある」。
2. 徳島県、また四国区内の公務員を目指す方に心強い「情報力の高さ」。
3. 島野先生の面接対策における「質の高さ&指導力」。

【この合格体験記のタイトル】

TAC の情報力 & 島野先生のおかげ

【面接・集団討論など二次・三次対策】

口述試験や人物試験のポイントは、2点あると思います。

1点目は、「下準備を入念にすること」です。例えば、志望動機であったり、自己分析は、短期間で臨むと、質が悪くなってしまうからです。

2点目は、「TAC の情報力、島野先生の的確なアドバイスを上手く吸収していくこと」です。

そして、最後に面接練習は、できる限り時間をかけることです。

【TAC を選んだ理由】

TAC は、公務員学校の大手であり、実績も高く、安心できたからです。

また、徳島校には県内や四国区内の試験関連情報がたくさんあり、島野先生の入校説明を聞いた後、合格できると確信できたからです。

【改めて振り返ると、今回の最終合格・内定の決め手は】

TAC から得られる試験情報や対策を信じて(特に面接対策)、それのみ実践して、努力し続けたからです。

【学習期間や一日の学習時間と、筆記試験対策】

学習期間に関しては、諸事情により短く、かつかなり遅めのスタートでした。

学習期間は、5月下旬～7月上旬までの、「およそ1カ月半」。学習時間は、「平均5～8h」。

多い時は、「10～11h」です。筆記対策は、ひたすらTACのビデオを観て、V問を解くというシンプルな方法です。

【TACでおすすめの勉強方法や教材、効果的な学習法】

おすすめは、講義を受ける(インプット)⇒V問「のみ」で問題を解く(問題演習＝アウトプット)

というサイクルを徹底することだと思います。

効果的なポイントは、○アウトプットに力を注ぐこと ○TACのテキストだけを信じて、やり抜くこと(あれこれと、他の本などに手を出さない) この2点です。

最後は、個人で合うスタイルを見つけて、時間と質を確保することだと思います。

【受験動機】

幼少期からの憧れの職業という点が根幹にあります。

あとは、付け足すとすれば、公務員である点や(大学は県外ですが)徳島県内で働ける点などを考慮して、受験しようと思いました。

【これから受験される方へアドバイス】

自分のスタイルや計画・スケジュールを早めに築いて、最後まで決して油断せず、諦めずに努力してください。

(+α. 公務員試験は、とにかく範囲が膨大なので、「決断」と「テキトーさ」が鍵になると考えています。前者は捨て科目の選択や、テキストはあれこれ目を向けずTACのものだけで十分ということ。後者は、取れるところだけ&覚えられる範囲で広く浅く勉強する姿勢です。)

【最後に一言】

私は、超短期決戦であったため、勉強面は、余裕がありませんでした。ですので、やはり「時間」は、かけられるだけかけるべきです。

しかし、内定をいただけたのは、TAC徳島校の力があってこそだと思っています。

職員の皆様、そして最後までご指導して下さった島野先生、本当にありがとうございました。これからも、頑張ってまいります。